



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 鶴島 一広
 〒104-0031 中央区京橋3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

正規社員を増やせ!

春闘要求・北部局開局で支社交渉

5月11日、東京支社にて「2015年度春闘要求」と「新西東京局(仮称)開局要求」に対する交渉を開催しました。春闘要求21項目、新西局開局9項目となりました。(北部局開設は「交渉部ニュースをご覧ください」)

—期間雇用社員—

期間雇用社員のスキル評価・作業能率測定・最低賃金改定では深川、小岩、晴海局での事例実例をあげて、「評価が反映されない」「作業能率測定が実施されていない」「最低賃金は改定されていない」「これらの手当支給、賃金支給に関わる重大問題であり、誤支給、測定未実施などはあつてはならないことであり、これまでも指摘してきた事例が繰返されている」と強く是正を求めました。

支社は「フリーペーパー等に募集広告を出し、局舎に募集広告を出して募集は常にやっている。基本賃金に手当を増額して募集をかけているが必要数は集まっていない」と回答しました。

地本から、どの職場でも大変な状況である。あまりの過酷さに退職する社員が出てくる。再雇用しないで退職する社員が多い。期間雇用社員は定着せずやめてしまう。支社は真剣にこの状況に対応すべきであり、設備投資よりも人に対して投資をするべきと求めました。

支社は「漏れが無いようにしていく」、「各局を指導していく」と回答しました。

—要員・郵便業務—

要員確保と郵便サービスでは、玉川局の事例で夜間再配が10時までやられている。速達郵便が午前中に配達出来

ていない事例などをあげ、要員の確保の状況と職場実態がどうなっているかを求めました。

支社は「フリーペーパー等に募集広告を出し、局舎に募集広告を出して募集は常にやっている。基本賃金に手当を増額して募集をかけているが必要数は集まっていない」と回答しました。

地本から、どの職場でも大変な状況である。あまりの過酷さに退職する社員が出てくる。再雇用しないで退職する社員が多い。期間雇用社員は定着せずやめてしまう。支社は真剣にこの状況に対応すべきであり、設備投資よりも人に対して投資をするべきと求めました。

支社は「漏れが無いようにしていく」、「各局を指導していく」と回答しました。

—区画調整—

区画調整では実施局所の実



る」と回答しました。

—勤務時間管理—

多くの職場で勤務時間が守られていない実態と現場管理者の勤務時間、休憩時間に対して理解していない実態をあげて、強く是正を求めました。支社は「これからの指導していく」と回答しました。

—パワハラ・職場環境・労働安全—

パワハラが横行している職場があり、病休に追い込まれている社員が出ているが権威を持つ立場の社員に対して、どのような指導をしているのか明らかにするよう求めました。

支社は「必要な措置、指導を講じている。問題があれば、支社・局の担当者へ通報してほしい。また、危機管理・自然災害については指導していく」と回答しました。

春闘要求に対する支社の回答は、どれも解決しようとする姿勢は感じられず、「現場を指導する」を繰り返すばかりです。支社の対応、姿勢に怒りをもち、職場から具体的事実を積み重ねて解決を求めましょう。



東日付印

和歌山県太地町の追い込み漁で捕獲したイルカの入手が、倫理

規範に違反するとして世界動物園水族館協会(WAZA)、本部スイス)が日本動物園水族館協会(JAZA)、動物園89水族館63の計152施設)に除名通告を行った▼JAZAはWAZA加盟継続の賛否を問う会員投票を行い、WAZA残留の投票が多数(99施設が「残留」、43施設が「離脱」)を占めました。JAZAに加入している約30の水族館では、太地町からイルカの獲得が困難となり、子供たちに人気のイルカショーなどの運営に支障が出る恐れがあるという▼多くの水族館は厳しい運営を強いられませんが、世界での希少動物のやり取りなどにはWAZAとのつながりは欠かせないという▼投票では、WAZAのネットワークを利用して、動物の交換や交流を実施してきた動物園は「WAZA残留」を選び、太地町からイルカを入手している水族館は「WAZA離脱」を選択したとみられます。動物園水族館、それぞれの思惑が窺えるでしょうか。

(T・T)

辺野古に基地は造らせない!

オール沖縄からオールジャパンのたたかいへ

全労連は、5月15日から17日まで沖縄支援・連帯ツアーを取り組み、翁長県知事、稲嶺名護市長を訪問し激励・懇談。辺野古・大浦湾で新基地建設を海上から調査。キャンプ・シュワブでの座り込み。17日は普天間基地を回り県民大会に参加しました。「辺野古基金」は短期間で2億円を超え「基地建設反対」の声が広がる中、「戦争法案」阻止とあわせてオールジャパンのたたかいへと発展させましょう。

訪れた15日は、本土復帰 43周年を迎えました。澄みきった海を果たしてから43年目を迎えた記念日でした。1972年5月15日は、沖縄はもちらん日本国民の多くが沖縄の「無条件・全面返還」を求めました。しかし、返還後も米軍基地による暴行、ヘリ墜落、騒音被害など米軍基地の現状は43年たっても変わりません。

政府は「世界一危険な飛行場」と言われる普天間基地を閉鎖し、その代わりを名護市辺野古に移設するといいますが、「移設」計画ではV字滑走路、燃料運搬タンカーが接岸できる燃料棧橋、ヘリを運搬できる大型船が接岸できる護岸、弾薬搭載エリアなどの機能があります。どれも普天間にはなく「移設」どころか「新基地建設」そのものです。辺野古では、海上からの調



米軍基地のこと 辺野古移設のこと

沖縄に駐留する米軍のうち、そのほとんどは海兵隊です。1950年代、米国海兵隊は岐阜県や山梨県に駐留していました。その頃、日本本土では米軍の演習や基地の拡張に対する反発が強まっていました。

一方、沖縄はサンフランシスコ講和条約により奄美、小笠原とともに日本本土から切り離され、米軍の占領下におかれていました。

そして、1956年、岐阜県や山梨県に駐留していた海兵隊がキャンプ・シュワブに移転したのを皮切りに、海兵隊の多くは沖縄に駐留するようになりました。

現在、日本の国土面積の0.6%の沖縄県に、

たっぷり歩いて温泉へ・地本レク

5月10日に郵政ユニオン 東京地本のレクリエーションで、神奈川県秦野へ軽い山歩きを行いました。

前日の雨模様で天気から季節外れの好天に恵まれ、山歩き前から汗ばむ陽気でした。秦野駅より弘法山公園・吾妻山コースへ鶴巻温泉、7,4kmの2時間半の山歩き。起伏のあるワイルドなコースでしたが、木漏れ日と山風が都会の雑踏を忘れさせてくれました。途中の弘法山公園の展望台から富士山の頭が見え、ジンギスカンのコーナーからは羊さん達が「ウメウメ」と鳴いていました。

山を降りて、弘法の湯里でちよつとしゃぶ湯でサッパリして、たっぷりの水分補給をして、明日からの鋭気を養いました。

当面の行動日程

- 6月4日 東京メトロ裁判 戦争法案阻止国会包囲
- 6月6・7日 全国委員長会議
- 6月11日 戦争法案阻止国会包囲
- 6月13日 STOP安倍政権! 大集会
- 6月13・14日 非正規ではたらく全国交流集会
- 6月14日 国会包囲総行動
- 6月17・18日 郵政争議本社前行動
- 6月17・19日 戦争法案阻止国会前連続座込
- 6月22・24日
- 6月23日 戦争への道をゆるさない6・23東京集会



今年も 東京湾クルージング

7月25日に決定